

苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 14 回 定例委員会
日時	平成 18 年 11 月 24 日 自 15 時 13 分 至 15 時 41 分
場所	苫小牧市役所庁舎 9 階 第 1 委員会室
出席委員	委員長 吉本俊憲 委員 鈴木正樹 委員 佐藤郁子 委員 佐藤守 委員 山田眞久
欠席委員	
会議録署名委員	佐藤守委員
会議録作成職員	総務課総務係主事 上川裕樹
事務局職員	学校教育部長 小玉孝幸 スポーツ生涯学習部長 今田和史 総務課長 照井進 総務課副主幹 池淵雅宏 総務課総務係主事 上川裕樹
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（吉本委員長） …15時13分
2 会議録署名委員の指名（佐藤守委員）
3 報 告（山田教育長）
・ 本日は、沼ノ端中学校の学校視察、ウトナイ小学校の建築状況、第15中学校予定地の視察など、早い時間からおいでいただき、また、先般、博物館で開かれ好評であった磁州窯展をはじめ市政功労者表彰、文化賞表彰式、22日から始まった全国高等学校選抜アイスホッケー大会の開会式・レセプションへ出席していただき、感謝申し上げます。
この後、西小の開校130周年式典が明日、29～30日には胆振管内教育委員研修会と引き続き出席していただく行事があるが、よろしくお願ひしたい。
(1) いじめ対策について
① 滝川市で遺書を残して6年生女子が自殺していたにもかかわらず、いじめが原因であることを隠蔽したという問題を発端に、福岡県筑前町の男子中学生の自殺では、教師のいじめに対する認識や対応の批判が、岐阜県瑞浪市ではバスケットの部活動を原因とするいじめは、校長が事実認識を二転三転する無責任ぶりが批判された。
その後、伊吹文部科学大臣宛のいじめ予告手紙が続き、道内でも同様な手紙・電話が寄せられ、厳戒体制が取られているところである。にもかかわらず、自殺は後を絶たず、小学校の校長が自殺する状況など、異常な事態になっている。
② 本市では、9日に「いじめ問題緊急対策会議」を開催し、過去の経緯も含め改めて、いじめの実態把握と対策等について呼びかけた。その際の私の説明は各学校の先生方にも配布し、一人一人が危機感を持つように働きかけたところである。さらに、すべての学校にいじめの実態把握の方法、いじめ防止の現状について、聞き取りを行ってきた。また、16日には公明党議員団から、いじめ根絶の緊急申し入れ書が提出されている。

③ いじめによる自殺は絶対に起こしてはならない、そのためには、まず子どもたちの発
するサインを学校・家庭などで、みんなが注意深く見逃さないことが大切である。
学校の対策は当然だが、保護者が家庭で、特に朝の朝食時に子どもの様子を観察する
ことは早期発見に不可欠である。そこで、家庭に呼びかけるリーフレットを作成し、
近日中に配布する予定である。また、21日にはいじめ予告電話・手紙の対応につい
ての通知も出し、適切な対応の仕方について確認したところである。
子どもいじめ相談電話については、掛かってくる件数がこれまで少なかったが、今回、
マスコミから相談を受けている時間帯が短すぎるのではないかという指摘を受けた。
市教委としてはこのシステムは必要と考えており、昨今の社会不安から充実を望む声
は理解できるので、良い方法がないか検討中である。改善策が決まり次第、発表した
いと考えている。
(2) 決算審査特別委員会での質疑について
・ 決算審査特別委員会において、以下の質問があり、回答した関係分について紹介する。
① いじめ・不登校・心の教室の実態、スクール・カウンセラーの成果、教師の不適切
発言の例
② 学校図書館の充実
③ 部活動と教員、ボランティア指導員の位置づけ、学校の選択制
④ 国体の開会式の問題
(3) 平成19年成人式実施要綱について (今田スポーツ生涯学習部長 報告)
・ 成人式を迎える該当者は、1,881人 (男性 942人、女性 939人)
昨年の対象者は1,999人で、参加者は1,575人
・ 例年通り実行委員を募集し、9月14日第1回の実行委員会を開催して新成人による企
画・運営を行っている (実行委員9名、内訳…男5名、女4名、有識者5名、学生4名)
・ 開催期日、平成19年1月7日(日) 式典は13時30分から20分程度、会場は白鳥

アリーナ
・ 今年「人」をテーマに、静かな演出をしたいという実行委員会の意向がある
・ これから本日18時30分開催の第5回実行委員会で具体的なアトラクションを決める予定
・ 式典の内容については、別紙実施要領参照で例年通りとなっている
4 議案審議
議案第1号 教育費補正予算について
(小玉・今田両部長より 所管分補正予算案 提案説明)
(1) 教育費全体：31,361千円の補正
・ 財源内訳：地方債9,500千円、その他特定財源6,061千円、一般財源15,800千円の増
(2) 小学校費：25,500千円の増額補正 (小玉 学校教育部長)
・ 学校管理費：大成小・日新小・糸井小・ウトナイ小に特殊学級を設置することに伴う工事で25,500千円の補正 (全額一般財源)
(3) 社会教育費：61千円の増額補正 (今田 スポーツ生涯学習部長)
・ 社会教育総務費：苫小牧市美術館建設基金への指定寄付に伴う61千円の補正
(4) 保健体育費：5,800千円の増額補正 (今田 スポーツ生涯学習部長)
・ 保健体育総務費：小・中・高校生の各種体育大会遠征の増加による遠征費助成金の5,300千円、日光市等で開かれるアイスホッケー大会における苫小牧市選抜チーム(小学生及び女子チームの2チーム分)ユニホーム助成金として500千円の補正
(吉本委員長) ただいま、小玉、今田両部長さんから関連の補正予算の説明がございました。何かご質問ありますか。鈴木委員さんどうですか。
(鈴木委員) この女子のチーム、ホッケーですか。
(今田部長) アイスホッケーです。今年から、初めて選抜高校野球と同じようなシステムで高校は苫小牧、中学は釧路、小学生が軽井沢で、女子の大会が日光市

で行われるということで、小学校のチームと女子のチームに対してそれぞれユニホーム代の半額を助成して、残りの半分を体育協会やアイスホッケー連盟が負担をするということになりました。
今後、アイスホッケーに限らず、増えてくる可能性がありますので、我々も色々な形で財政と協議しなければならないと思っております。
(鈴木委員) これは毎年行われていくものでしょうか。
(今田部長) 今後10年間ということになっています。ただし、ユニホームは1回だけというふうに決めております。その辺は大変申し訳ないのですが、破れてしまった場合などは連盟で取り替えてくださいということにしています。
(佐藤守委員) 今回、4校特殊学級を設置するようですが、まだ設置されていない学校はあとどれくらいあるのですか。
(小玉部長) あと10校です。
(佐藤守委員) これに伴って、先生方も増えるのでしょうか。
(教 育 長) もちろんです。そこが狙いなのです。特殊学級の教職員数は、子どもの数と学級数によって決まりますから、一定程度の規模以上になると子どもが増え、学級数が増えても教職員は少ししか増えません。
ところが、子どもが2人でも3人でもその学校に特殊学級をつくれば、教員が1人、2人と配置されます。
苫小牧市は障害の程度の重い子どもが多いですから、教員の負担を減らすためにも、今の制度の中でどんどんつくっていく必要があるだろうと前から思っていました。
(吉本委員長) これに関連しまして、中学校の特殊学級の対応は展望としてどうなるのでしょうか。
(教 育 長) 今、中学校は東部があれだけ人数が増えてきているのになんというこ
すから、当然、新しい中学校が分離してできる頃には、特学についても作らなければならないと思っております。もう少し先になるかもしれません。

前にも議会で東部に作りますというふうに答弁しておりますので、あと、中学校で課題なのは山なみをどうするかということが出てきますし、今、和光中が東を含めての範囲ですが、少し距離があるということで、東側にもうひとつと考えていますが、中学校の特学については拠点的な要素を残しながら行っていきたいと思っています。

(佐藤郁委員) 美術館の建設なのですが、作っていただきたいという要望は随分前からあって、特に有名ではないものを展示するということを伺っているのですが、可能性としてはどうなのでしょう、保管とか維持とか展示の仕方とかを考えると新しい建物を作るということでしょうか。

(今田部長) 現在、博物館で収集業務を行ってしまして、私も勉強不足だったのですが、ギャラリー程度の話が議題に上っていたのですが、美術館はそうではなくて学芸員も配置しなければならないですし、一番の問題は保存の部分の空調設備、そういう空間、それが一番経費のかかる内容で、場合によっては10億以上になり、規模は何十億にもなる。

苦小牧的には遠藤ミマンさんの資料もごございますし、色々な方々の資料もたくさんあるのですが、それを新たなものを建設していこうという気運が、例えば600万程度の基金が過去あっても、ではその基金だけで行えるかという判断が私どもにはまだ持てないということで、美術協会とも色々話をして、ギャラリーも必要であるというご意見だったので、新たな良いものを収集するという活動も必要だと。

それから地元の人たちを是非ということでしたが、まだ我々として定まったものがなくて、今言っている内容だけではかなり見通しは難しいのではないかと考えております。ですから、今展示できるのは博物館なり、アイビープラザであったりe g a oであったり、そういうような簡易的なギャラリーしかない。ギャラリーそのもので本格的なもの、收藏は博物館というようなことであれば、例えばこの基金の活用の部分で、もう少し市民に

<p>お願いをして本格的なギャラリーをとということであれば、逆に皆さんのご</p>
<p>要望に近い形でできるのではないかと。</p>
<p>本格的な美術館となると今言いましたとおり、空調設備が一番、保存の関</p>
<p>係ですか、空間とランニングコストを含めてものすごいことになりますの</p>
<p>で、佐藤委員さんのおっしゃっていることはわかるのですが、今のところ</p>
<p>は議会でもそういうお話をさせていただいているのですが、非常に難しい</p>
<p>という状況です。</p>
<p>(佐藤郁委員) 一点豪華な美術館と地域の美術館と違うのもそうなのですが、展示自体も</p>
<p>光もそうですから、実際にするとしたらこのくらいの額ではとってでもでき</p>
<p>ないだろうと思っているのです。非常に維持費がかかるものなのです。そ</p>
<p>れで博物館に保管できるくらいの量であれば、美術館では展示をしていく</p>
<p>というのは難しくなるので、それで伺ったのですけれども、見通しとして</p>
<p>は目玉になるようなものを購入する予定があるのでしょうか。</p>
<p>(今田部長) 今はほとんど予算がつかいませんで買っていない状態です。寄贈を受けた</p>
<p>くらいでしょうか、札幌など近隣にそういう近代美術館などがあるもので</p>
<p>すから、電車で40分50分行けば見ることができる。それではそこと競</p>
<p>い合う美術館というものが苫小牧に必要なのかというお話をしなければな</p>
<p>らないと思うのです。委員さんおっしゃったとおり、地域密着型、豪華な</p>
<p>絵ではなくて、そのような建物ではなくて、みんなが来て、ギャラリーを</p>
<p>見て、地元の絵を鑑賞したり、地元の人を発掘したり、そういう動きの中</p>
<p>での美術館となれば、逆に言えば大きな費用じゃなくてできるのではない</p>
<p>かと思うのです。</p>
<p>(佐藤郁委員) ギャラリーがきちんとして充実するというか、良いギャラリーにすれば、</p>
<p>借りて展示もできますから、持っていなくても。ただ、今みたいな博物館</p>
<p>のようにそこからライトが当たるかによっても絵が傷むので、そのきちん</p>
<p>としたギャラリーがあれば、近道なのかなと思ったりもすることがあるの</p>

で伺ったのです。

(今田部長) ギャラリーという話で、熱心に美術館活動をしていただけるのであれば、その経費が10分の1くらいになるはずですので、間違いなく近道にはなるのですが、では、ギャラリーにしますと言いますと色々あるものですから、どういう美術館をみなさんがお考えになるのか、それが今後の課題になってくるのではないかと思います。

(佐藤郁委員) 保管と展示にお金をかけられるくらいの余裕がないとちょっと難しいものなので、立派なギャラリーはどうかしらと伺ったのですが、ありがとうございました。

— 原案通り承認 —

5 委員会閉会の宣言 (吉本委員長) …15時41分

以上のおり会議の概要を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。